

自己紹介:横山昌太郎(よこやましょうたろう)



- 1971 広島生まれ、三重県四日市市育ち
- 1997 名古屋大学農学部林学科をD1で中退
- 1997 環境省の自然保護官として国立公園の管理、野生動物の保護管理等
～
- 2006 森のいきもの案内人(星野リゾート・ピッキオ)。
～ 途中2年間NPOスタッフとしてツキノワグマの保護管理に従事
- 2016 香川県に移住。1年間の休養後、観光関係の
～ 会社の立ち上げに携わる
- 2020 個人事業主として森のガイド、ガイド養成講師、
～ エコツーリズム事業、家庭教師、プログライター、草刈りなど行う。月一回、地元民放ラジオ(RNC)にて森の話「ForesTalk」を担当。

資格 博士(農学)、森林インストラクター、森林セラピーガイド、全国通訳案内士、讃岐ジオガイド等

非常勤講師 大阪ECO動物海洋専門学校(森林生態学実習)、せとうち観光専門職短期大学(エコツーリズム・ガイド実習)、関西学院大学(野生動物共生論)

1

ツアーの一例:植物の上陸戦記

植物進化(出現)の歴史は?



A. 多年生の草



B. コケ



C. 木・裸子植物



D. シダ



E. 木・被子植物



F. 1年生の草

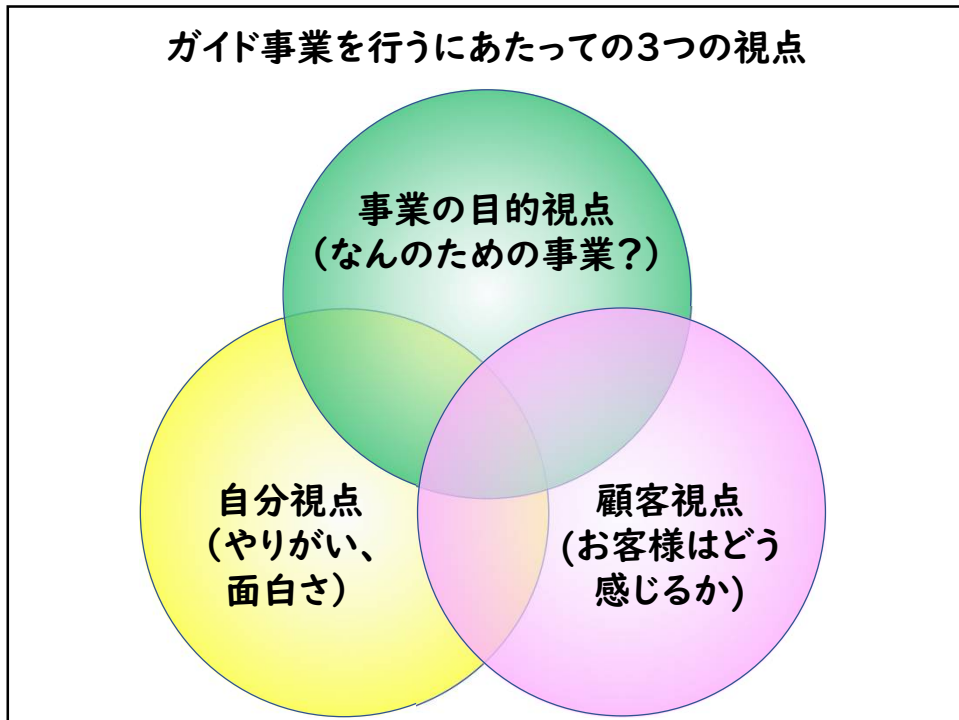
2

一番進化している植物はどれ？

B. コケ D. シダ C. 木・裸子植物

F. 1年生の草 A. 多年生の草 E. 木・被子植物

3



4

「世界幸福度ランキング2023年版」

□日本の順位 **47位** (156カ国中)

□日本の要因別順位(2019年)

- ・健康寿命 2位(74.8歳)
- ・GDP 24位(一人当たり、国全体では3位)
- ・自由度 64位

設問:あなたは自分の人生で自分がすることを選択する
自由に満足か不満か?

- ・寛容さ 92位

設問:気前の良さ、過去1ヶ月の間でチャリティにお金を
寄付したか?

5

UNICEFの「先進国の**子どもの幸福度**ランキング」
(2020年)

日本は総合で38カ国中20位。

身体的健康 1位

スキル 27位

精神的幸福度 37位

→ 生活満足度の低さや自殺率の高さによる

6

フィンランド：世界幸福度ランキング6年連続トップ

ラウラ・コピロウさん（フィンランド大使館）のインタビュー

- ・フィンランドでは「**自分らしさを重視する**」という考え方も、幸福度につながっていると感じる。
- ・**自分らしく生きるには**、他人の自分らしさを認め、「自分と違っていてもいい」という**寛容性が大切**であり、フィンランド人ならではの国民性
- ・寛容性により周囲の目を気にせず自分らしさを追求できる。
- ・自分と違う生き方をしている人と比べて羨ましく思ったり、不公平だと感じたりすることもあまりないと思う。

Adecco Group WEBサイトの記事より要約
<https://www.adeccogroup.jp/power-of-work/242>

7

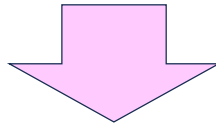
自分らしさを大切にする（自己肯定感）を高めるには…

■心理カウンセラー中島輝氏による自己肯定感を支える
6つの「感」

- 自尊感情**（根）：自分には価値があると思える価値観
- 自己受容感**（幹）：ありのままの自分を認める感覚
- 自己効力感**（枝）：自分にはできると思える感覚
- 自己信頼感**（葉）：自分を信じられる感覚
- 自己決定感**（花）：自分で決定できるという感覚
- 自己有用感**（実）：自分は何かの役に立っているという感覚

8

- 自尊感情（根）：**自分**には価値があると思える価値観
→ **存在して（生きて）いるだけで発生する価値があるという認識**
- 自己受容感（幹）：**ありのままの自分**を認める感覚
→ **得意・不得意があり、人と違う快・不快を感じる自分でよいと認める感覚**



森の姿から学べるのでは？

9



森

様々な生命（多様な生き方）と出会える場所。

↓

多様な生き方があることで循環の環が生み出されている。

↓

すべての生命は循環の環の中で直接的・間接的につながっている。

生きているだけで循環の環を回す役割を担っている。

10



11



12

生命を縦軸（進化）と横軸（つながり）で同時に見る
それぞれの生命は「大きな生命」の一部であり
それぞれに役割がある




生命はもともと一つ
（38億年前の一つの生命
から始まった）

金子みすゞ（1903-1930）

13

生命とその多様性を尊重する心と
統合的な生命観を持つ人を増やしたい

どのように増やしていくのか？



自然に実際に触れ、自然や生命のあり方を理解することによる**感動や共感**から広げていく。

そんな生き方があるんだ！
そんなつながりがあるんだ！

14

奇跡は身近に

三浦梅園(1723~1789)

「枯れ木に花咲くに驚くより、生木に花咲くに驚け」



(写真:Wikipediaより)

豊後国の思想家、自然哲学者。
幼い頃より『日は東より出て、西に入る』といった営みを当たり前とせず、その事実**に強い疑問を抱き続けた。**
『天地万物はみな一つの根本から現れているもので、その現れ方には決まった条理(筋道)がある』という哲学体系『条理学』を構築した。

15

間口はできるだけ広く:まずは興味を持っていただく

きれい!

かわいい!

おもしろい!

たのしい!

すごい!

おいしい!

参加していただいた観察会やツアーの中に
お客様が共感できるメッセージを込める

16